

奨励賞



海人町「セー浜」

高松 慧留

ぼくは、この町に引越して来た五年たち
ます。今までは身近に自然が海に采れる機会
がありませんでした。セー浜に来てから自然
が海の笑顔を少しづつ知ることができました
た。
ぼくの家は海が近くて、庭にカニが歩いて
いるのを見たことがありません。セー浜ではふ
つうに出來事がもしないけれど、海が身近に

ないといけない事だと思いました。

セー浜の菅蒲田浜へ遊びに行った時、思
いがちを見つけたのが好きになりました。

でも「気な」た事もあつた。それは「だれ
かが置いて行く」たゴミでした。近くにはゴミ箱

がないため、その場でだれかが捨てしまっ
たのかと少しおどろきを持ちました。

こんなにしれいなく目がくらがるの
あとで調べると見るし、二〇一二年から菅蒲

田海水浴場の定期的なビーチクリーンが行わ

れていることを知りました。地りきの人達が
ゴミかろいガ、かんキョウを繋いで海を中し
くに守っていただけだと思いましたが。ほくもび
ーキウリーンいいつかあかしてみたと思います
ました。
川の自然豊かながせつ浜を守るために、ぼく達
がでやることを決ましてみました。家ではい
水口に油の多にお目をすくに水で流すか、
一度キップンペーパーでかいてお目を洗うよう
矢で、海を少しでもお目にけなりかえらせるの
も大切だと思いましたが。せつに、この数年間の
の気温が高く、地球温がく化の進みを感じて
きた。
「海の水の温も上がって、せつ海の水は大丈夫
なんだろうか」とお母にも思いました。ほくの
分別、使わないうる電見は流すかどの電見も
を上げていきたいです。
ほくの気がかいらせつ海の水のまじかえ
なでやることにきいてほしいと思います。